

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

武蔵野市議会だより

No.361

発行日 平成28年(2016年)2月1日

発行 武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1883(直)
FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 一般質問 2-3面
- 議案審議結果一覧 4面
- 政府等への意見書、決議 4面
- 請願・陳情審議結果 4面

第四回 市議会定例会

第四回定例会は、十二月二日から十七日まで開催されました。今議会では、二十一人の議員による一般質問が行われたほか、武蔵野市立男女共同参画推進センター条例など二十六件の市長提出議案、議案第九十八号武蔵野市民文化会館改修工事請負契約に関する付帯決議など四件の議員提出議案が審議されました。

市民文化会館改修に関する六議案と付帯決議を可決

十二月十七日の本会議において、「武蔵野市民文化会館改修工事請負契約」等、市民文化会館改修に関する六つの議案が可決されました。

昭和五十九年開館の本施設は、これまで三十年余りにわたり、市民文化創造の拠点として本市の文化芸術活動の推進に大きく寄与してきました。一方で、施設設備の老朽化が進んでおり、改修が必要な時期を迎えています。

この間、武蔵野市第五期長期計画では、総合的・計画的な観点から文化施設の整備を推進していくことが掲げられ、武蔵野市公共施設再編に関する基本的な考え方でも、本施設は、必要な改修を加えながら継続して利用していくとの方向性が示されてきました。そして、平成二十五年度から三年をかけて検討が重ねられ、市民や議会との意見交換を踏まえ、改修内容が取りま

められてきました。本議案は、本施設を今後約三十年間活用していくために、劣化した施設設備の改修とともに、機能を向上させるための改修を実施するものです。六件の総契約金額は四十億九千九百九十四万四千円で、工期はいずれも議決の日の翌日から平成二十九年三月十五日までの予定です。本議案は、十二月八日の総務委員会の審査を経て、十七日の本会議では、総務委員長の報告、二名の反対討論、三名の賛成討論が行われた後、賛成多数で可決されました。また、六議案のうち一議案について付帯決議が提出され、賛成多数で可決されました(四面の決議欄を参照)。

男女共同参画推進センター関連条例と付帯決議を可決

男女共同参画推進センター設置のため、「武蔵野市立男女共同参画推進センター条例」のほか、関連する一つの改正条例が、所管の総務委員会・文教委員会の審査を経て、十七日の本会議で、全会一致で可決されました。

これまでのむさしのヒューマン・ネットワークセンターは、武蔵野市政センター二階に設置された当初より利便性や安全性に課題があり、また、新たに相談機能の拡充が必要なことから、移転について検討されてきました。今回の各条例は、本市の男女共同参画に関する施策の総合的な推進を図ることを目的とし、名称を武蔵野市立男女共同参画推進センターに変更して市民会館内に移転するほか、事業や施設貸し出し・管理運営等について整備するものです。また、二条例のうち一条例について付帯決議が提出され、賛成多数で可決されました(四面の決議欄を参照)。

「サザンカ&メジロ」

撮影:辻井 元(武蔵野市)

場所:武蔵野市西久保の玉川上水周辺(2015.3.3)

メジロは動きが速くていい構図、背景に収めにくいのですが、表情と背景の玉ボケがうまくとらえられた早春の一枚です。玉川上水沿いを散歩中に撮った早春の一枚。

Photo Gallery

フォトギャラリー



1面写真募集要領(次回の締め切り4月20日)

- 内容: 武蔵野市内(隣接する地域を含む)で応募者自身が撮影した、未発表[®]のオリジナル作品(カラー)に限ります(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)。
 - ※インターネット、ツイッター等で掲載したものや、個展や写真の掲載が主目的な催しは発表とする。ただし、地域行事への協力展示(例えば、コミセンや学校での展示など)は未発表とする。
- 規格: ①紙焼きの場合 ・サイズ 六つ切り
②デジタルデータの場合
 - ・ファイル形式 J P E G形式
 - ・画像サイズ 1600 × 1200ピクセル以上
 - ・ファイルサイズ 2MB程度まで(2MB以上になるとメールが受信できない場合があります)
- 審査: 議会広報委員会が審査します。
- 発表: 採用された作品は、5月15日発行の市議会だよりに掲載します(賞品等はありませんのでご了承ください)。
- 著作権: 作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、市議会だより掲載後6か月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- 期限: 4月20日(水) 当日消印有効
- 応募方法: 撮影者の住所・氏名・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記の上、下記先までご応募ください(作品は返却いたしません。なお、今回採用されなかった場合、次号以降の市議会だよりの1面写真に使用させていただく場合があります)。
- あて先: 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
武蔵野市議会事務局 市議会だより担当
デジタルデータの場合はメールで ofc-gikai@city.musashino.lg.jp まで(上記以外のメールアドレスやCD-R等、各種メディアでの送付はご遠慮ください)
- 問い合わせ: Tel. 0422-60-1883



一般質問

第4回定例会では12月2日、3日、4日に21名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、2月中旬発行予定の会議録(設置場所:各市立図書館、コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第4回定例会分は2月16日登録予定)、インターネット議会中継でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。

水道事業の 今後の方針は



山本あつし議員

- 問** 本市と都の水道事業一元化の現状は。
- 答** 平成26年1月に東京都水道局に対して課題整理等の発議を行い、都の実地調査を経て、現在は市で課題を整理している。
- 問** 仮に一元化が実現された場合、本市における地下水の利用はどのようになるか。
- 答** 都の多摩水道改革計画2013には「地下水は震災等の備えとして、可能な限り活用したい」と示されており、本市の水源も引き続き利用されるものと考えている。
- 問** 現在実施中の水循環関連事業は、一元化後も継続してほしいが、いかがか。
- 答** 昭和20年代の水環境に戻すことを目標に掲げており、引き続き実施したい。

障害者差別解消法施行に 伴う共生社会の実現を



斉藤シンイチ議員

- 問** 愛の手帳等を持っていない発達障害児・者からの相談状況を伺う。
- 答** 18歳未満の児童の地域療育相談室ハビットにおける継続相談数は5年間で331件から1,597件へと急増し、18歳以上の方からは就労やヘルパー支援に関する相談が多いが、相談者のほとんどが手帳を取得しておらず、発達障害の診断を受けていない。
- 問** 医学的な視点から課題をとらえるのではなく、社会・環境の枠組みを変えることによる対応を求めるが、見解は。
- 答** 御指摘のとおり障害特性による支援ではなく、本人の抱える問題や課題となっている社会的不利益を埋める支援をしている。

児童館の存在意義と 今後の方向性は



下田ひろき議員

- 問** 第五期長期計画・調整計画案に、桜堤児童館の機能拡充について記載があるが、今後の児童館の方向性に対する見解は。
- 答** 当面は児童館を存続する方向で今後策定する調整計画に沿った機能拡充を進めたい。
- 問** 市の東部・中部地区への児童館新設や、0123施設への児童館機能拡充の考えは。
- 答** 児童館の新設は現在考えていない。また0123施設は、現状の規模のまま利用対象を拡大することは困難と判断している。
- 問** 新たな財源確保策としてネーミングライツの取り組みの導入を求めるが、見解は。
- 答** 親しまれた施設名称が変わる等、市民理解が得られるか慎重に検討すべきである。

誰もが自分らしく安心して暮 らし続けられる仕組み作りを



土屋美恵子議員

- 問** 市有財産を地域ニーズに沿って有効活用するため、①テンミリオンハウスの空白地域への早期開設を求めるが、例えば東町の平井医院跡に高齢者と子ども等の世代間交流を伴う複合施設開設を進めるべきでは②桜堤小学校跡地への保育関連施設等の移転も視野に入れ調整計画に掲載すべきでは。
- 答** ①福祉目的のため遺贈を受けたもので、地域の課題解決に向けた活用を検討している②調整計画は策定委員会からの計画案の答申を尊重すべきと考えており、現段階で当該箇所を変更することは想定していない。このほか、障害者の方々の暮らしに必要な補装具についての質問がありました。

子育ての質の向上、孫育て支援、 結婚後の定住政策について



笹岡ゆうこ議員

- 問** 市は幼稚園の預かり保育を待機児対策ととらえている。ひとつき最大1万円以上になる幼稚園とこども園の預かり料金の差を、補助金等で是正すべきでは。また、食の安全のための給食放射能検査と安全・防犯のための緊急連絡システムに、保育施設や小学校と同様に幼稚園も追加すべきでは。
- 答** 園長会等で検討・研究していきたい。
- 問** 孫育てに対する自治体の支援が全国的に拡大しているが、市の見解は。
- 答** 各自自治体の例を参考に研究を進める。
- 問** ファミリー世代の転出超過対策は課題である。住宅助成・家賃補助への見解は。
- 答** 住宅ストックの有効活用等を検討する。

増加する保育園への申し込み 待機児ゼロの実現を



山本ひとみ議員

- 問** 来年4月の保育園入所の第一次受け付けが締め切られたが①保育園の定員と申込者数は②来年4月の待機児ゼロの見通しは。
- 答** ①定員は549名を予定しており、申込者数は昨年より141名増の1,159名である②現時点では難しいがさらに対策を進める。
- 問** 桜堤児童館の2階の児童館としての復旧に関しては、現在2階を保育園として利用していることで、児童館と保育園の利用者のいがみ合いにならないかとの声もある。保育園は別の場所での受け皿が必要では。
- 答** 緊急待機児童対策の一環として開所しているため、当面は必要と考えており、一定のめどがつくまで現施設を利用したい。

地域社会、地域活動におい てのおやじの会について



藪原太郎議員

- 問** 地域社会、地域活動の活性化について、高齢化等の課題がある中、子育て世代のおやじの会は期待が持てると思うが、見解は。
- 答** 大切な役割を担えると考えており、活動が各地域で広がることを期待している。
- 問** おやじの会は自主組織だが学校の影響を受けやすい。対話の窓口を学校が閉めることのないよう応援してほしいがいかがか。
- 答** 各学校でPTAや青少協等横の連携をしつつ、学校長とのコミュニケーションもうまく取っていただきたいと考えている。このほか、学校管理下における事故と対応、総合防災訓練等についての質問がありました。

市民の幸福度向上につながる 施策の実現のために



竹内まさおり議員

- 問** 荒川区のように市民の幸福度を向上させる施策が行われるよう、本市でも幸福度調査を実施すべきと考えるが市長の見解は。
- 答** 幸福度については、現時点ではまだ指標に何をを用いるかなど確立されていないと考えている。今後、各自自治体の幸福度に対する取り組みについては注目していきたい。
- 問** 紙ベースのほか動画を使った施設案内を行えば、利用のイメージもつかみやすい。紹介動画の作成に取り組んではいかがか。
- 答** 市ではこれまで、ホームページに限らずフェイスブック等で多様な情報の提供を行ってきたが、動画を含めた情報提供のあり方について検討していきたい。

障害者スポーツの 普及促進を



浜田けい子議員

- 問** 東京オリンピック・パラリンピックに向け、障害者スポーツの振興支援策を伺う。
- 答** 障害者対象のスポーツ教室開催や、障害者スポーツ指導員の資格取得を進めている。今後は障害の有無を問わず、ともにスポーツを楽しめる取り組みも増やしたい。
- 問** 高齢者肺炎球菌予防接種が定期接種となったことによる医療費削減の効果は。
- 答** 任意接種の段階から接種されている方もおり、具体的な数字を示すのは困難だが、健康維持には効果があると認識している。
- 問** 地域支え合いポイントの対象年齢は。
- 答** 高齢者の社会参加を推進するため、試行段階では65歳以上が対象予定である。

障害者・高齢者スポーツの 振興に向けた連携体制を



高野恒一郎議員

- 問** 児童・生徒の体力や運動能力向上は、施策等のソフト面と環境整備のハード面の充実が必要と考えるが、今後の取り組みは。
- 答** 体力調査に基づく授業の改善とあわせ、土曜学校スポーツ教室の実施など、運動に親しむ環境を整備し、児童・生徒の運動習慣の定着を図っていく。
- 問** 障害者や高齢者のスポーツプログラムの充実に向け、健康福祉とスポーツの部門間連携が重要と考えるが、見解は。
- 答** 東京オリンピック・パラリンピックに向け、各担当課で構成する庁内推進会議を設置したが、この中でも具体的な取り組みについて検討を進めたい。

「科学する心」をはぐくむ 取り組みの推進を



大野あつ子議員

- 問 学力に表れない「科学する心」を芽生えさせるアプローチについて、見解を伺う。
- 答 学習指導員や理科指導員を配置し子どもたちの「科学する心」を育てていきたい。
- 問 生涯学習の充実に対し、大人が最先端科学に触れる機会は少ないと思うが見解を。
- 答 五大学と連携し先端科学のテーマを設定し、寄付講座等で学ぶ場を提供している。
- 問 空き店舗を利用して、官民協働で先端科学に触れる事業を創出できないか伺う。
- 答 商品等を使った実験を店頭でできればいいと思うが、多くの課題があると考え。このほか、子どもの貧困対策等についての質問がありました。

水道事業の都営一元化、境浄 水場景観と玉川上水の環境は



木崎 剛議員

- 問 武蔵野市水道事業の都営一元化に向けた、現在までの協議の進捗状況について伺う。
- 答 ここ数年で下準備はかなり進んでいる。
- 問 水道事業都営一元化によるメリットは。
- 答 災害時、東京都全域で水の相互融通等安定供給の能力が飛躍的に向上する。
- 問 境浄水場再構築事業に対し、住民の声や景観等をかんがみて都へ要望すべきでは。
- 答 住民の意見や周辺環境に与える影響をできる限り低減するよう要望していきたい。
- 問 玉川上水の景観保全への市の方向性は。
- 答 都、沿川各自治体、住民団体等と連携を図り、保護、向上に知恵と工夫を結集し、次世代への継承を目指すべきと考え。

賃貸物件を活用した 福祉サービスの充実を



落合勝利議員

- 問 福祉サービス拡充に際し、賃貸物件の活用が可能となる場合、影響と効果は。
- 答 施設整備に係る初期投資を圧縮できるため、一定の効果はあると考えるが、介護保険料とのバランスを考慮する必要がある。
- 問 福祉型住宅が不足しており、量的な拡充を進めるべきと考えるが、集合住宅の空室物件等を活用してはどうか。
- 答 賃貸住宅所有者が住宅困窮者への貸し出しに不安を持っているため、各種相談窓口を周知し、入居への理解を求めたい。
- 問 本市における民泊の実態について伺う。
- 答 実態は不明だが、管轄の多摩府中保健所によると、現時点では民泊施設はない。

生活保護の住宅扶助費 削減の対策を求める



本間まさよ議員

- 問 7月に生活保護の住宅扶助費削減を実施したが、対象となった世帯の実態は。
- 答 削減の対象は70世帯で、うち25世帯が転宅を要し、4世帯が転宅済みである。
- 問 この削減に伴い、家賃引き下げ交渉をケースワーカーに行ってほしいが、見解は。
- 答 生活保護受給者の了承が得られた場合に実施しており、必要に応じて継続したい。
- 問 自治体の子ども医療費無料化に対する、国のペナルティー廃止を求めるが、見解は。また、本市における影響額について伺う。
- 答 全国市長会で廃止を求める決議を採択しており、引き続き関係機関に要請していく。影響額は約980万円と算定している。

市民意見を切り捨てた「市民 文化会館改修工事」について



深田貴美子議員

- 問 東洋大学に委託した武蔵野市公共施設再編に関する研究報告書では、市民回答の76%が武蔵野市民文化会館は「統廃合」だった。議会・市民に公表しなかった理由は。
- 答 具体的な他の施設名と提案があり、誤解・混乱を避けるため公表しなかった。
- 問 小中一貫を踏まえた学校施設整備にあたり、①「新しいコミュニティ構想」の考え方②区と校区の整合について伺う。
- 答 ①「地域フォーラム」を課題解決の場とし、理念を再構築する必要があると考える②再編も想定し課題整理をしている。
- 問 性同一性障害児童への学校での対応は。
- 答 だれでもトイレの設置を検討している。

安全で清潔な美しいまち への取り組みを



堀内まさし議員

- 問 マナーポイント廃止後、三駅周辺にたばこの吸い殻が増えたと感じるが、室内型喫煙所の設置は検討しているのか。
- 答 維持管理上の課題はあるが、今後もJ-Tと情報交換をし、検討を進めていきたい。
- 問 路上禁煙地区周辺部における吸い殻のポイ捨て状況を把握してほしいが、見解は。
- 答 マナーアップを推進していくことに加えて、今後状況把握に努めていきたい。
- 問 安全と美化の観点から、駅近隣の公園内への防犯カメラ設置を求めるがどうか。
- 答 当面は防犯カメラに頼らない安全・安心な公園を目指したい。適正な維持管理に向けた設置は総合的な見地から検討する。

医療・介護など福祉施策の さらなる推進を



しばみのる議員

- 問 市内東部地域は中・西部地域に比べて、人口は多いが病床数は少ない状況である。実態に合った病床数の確保が必要では。
- 答 地域のバランスを考慮しながら、病床機能と病床数が現状以上、または圏域の平均以上となるよう都へ働きかけていきたい。
- 問 介護報酬の引き下げによって、人材不足や介護事業所の経営の圧迫等が課題となっているが、①人材確保に対する考えは②都や市長会を通じて、介護報酬改善を求める意見を国に上げてほしいが、見解は。
- 答 ①ケアリンピック等を行うことで介護現場への理解を深め人材確保につなげたい②必要な対策を講じるよう意見を上げたい。

表面から見えにくい発達 障がい者支援の拡充を



西園寺みきこ議員

- 問 原因がわからず適切な支援がないまま成人した大人の発達障がい者について、①家族も対象に含めた相談・支援事業の拡充が必要では②じかに接する公共施設の窓口担当者等への研修が必要と考えるが見解は。
- 答 ①人材育成に加えて発達障がい者専門の相談機能を持つ事業所確保を検討し、家族も含めた支援を広げたい②こころの健康支援事業等の講座を通じて啓発していく。
- 問 保育のガイドラインの理念を新規参入事業者や保護者に向けて発信すべきでは。
- 答 ガイドラインは保育の質を維持向上していく取り組みの表れの1つであり、趣旨が伝わるように今後工夫していきたい。

福祉タクシー利用券の利用 率向上に向けた見直しを



蔵野恵美子議員

- 問 福祉タクシー利用券の使用率が5割弱と低い。他自治体同様、初乗り分に加え複数枚利用可とすれば利用率は上がるのでは。
- 答 助成方法については、費用の面や他自治体の状況も勘案しながら今後検討したい。
- 問 難病・障害児の医療ケア付きキャンプ場「そらぶちキッズキャンプ」(北海道滝川市)を本市でPRし利用促進できないか。
- 答 意義深いキャンプと認識している。活動内容の調査を進め、情報提供をしたい。
- 問 平成28年度実施予定の地域支え合いポイント制度の対象年齢拡大等の青写真は。
- 答 当面試行で65歳以上を対象とし、試行拡大・本格実施時と段階的に検討したい。



平成27年12月2日の本会議、一般質問において、手話通訳・要約筆記が実施されました。

本会議や委員会の傍聴の際の手話通訳者等の派遣については、ホームページ等でご確認いただくか、議会事務局議事係に直接お問い合わせください。
(☎ 0422-60-1883)

障害者差別解消法施行に伴い、 わかりやすい案内表示を



川名ゆうじ議員

- 問 障害者差別解消法の施行に伴い、市のウェブサイトや公共施設等には、わかりやすい日本語やピクトグラム(絵文字)による案内をすべきと考えるが見解を伺う。
 - 答 やさしい日本語は、外国人や障害者等に一定の効果があるが、ピクトグラムを含め導入の可能性をよく研究していきたい。
 - 問 古文書等の歴史資料をデジタル化等によりウェブサイトに表示すべきではないか。
 - 答 デジタルデータの特性を生かした公開ができるように研究したいと考えている。
- このほか、保育園保護者と行政が意見交換できる場や保護者同士が話し合える場づくりの支援等についての質問がありました。

地域の学校はすべての子どもが ともに学ぶ「みんなの学校」に



内山さとこ議員

- 問 平成29年度からの第三小の特別支援学級新設と、通級の廃止・特別支援教室の全小学校開設に伴い、児童の転校や学区分けに対して柔軟な対応を求めるが、見解は。
- 答 子どもたちのための改革であり、御指摘の点に配慮して進めたい。
- 問 市民とのパートナーシップに基づき建設、運営されてきたクリーンセンターの①施設周辺整備の今後の協議のあり方は②運営協議会だよりは全市民に広報すべきでは。
- 答 ①市民自治の歴史を継承し、丁寧な対話と全市民的議論のもと進める②わかりやすく充実した内容であり、市ホームページへの掲載を検討したい。

議案審議結果(議決)一覧

第4回定例会

【市長提出議案(26件)】

- 武蔵野市個人番号及び特定個人情報の利用に関する条例 可決(賛成多数)
● 武蔵野市行政不服審査に関する条例 可決(全会一致)
● 武蔵野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
● 武蔵野市非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
● 武蔵野市市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
● 武蔵野市立男女共同参画推進センター条例 可決(全会一致)
● 武蔵野市保育の必要性の認定の基準に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
● 武蔵野市学童クラブ条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
● 武蔵野市下水道条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
● 武蔵野市立武蔵野プレイス条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
● 武蔵野市立武蔵野市民会館条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
● 東京都公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約 可決(全会一致)
● 武蔵野市民文化会館改修工事請負契約 可決(賛成多数)
● 武蔵野市民文化会館改修に伴う電気設備工事請負契約 可決(賛成多数)
● 武蔵野市民文化会館改修に伴う機械設備工事請負契約 可決(賛成多数)
● 武蔵野市民文化会館改修に伴う舞台機構設備工事請負契約 可決(賛成多数)
● 武蔵野市民文化会館改修に伴う舞台照明設備工事請負契約 可決(賛成多数)
● 武蔵野市民文化会館改修に伴う舞台音響設備工事請負契約 可決(賛成多数)
● 平成27年度武蔵野市一般会計補正予算(第3回) 可決(全会一致)
● 平成27年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第2回) 可決(全会一致)
● 平成27年度武蔵野市後期高齢者医療会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
● 武蔵野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 可決(賛成多数)
● 平成27年12月における武蔵野市議会議員の期末手当に関する条例 可決(賛成多数)
● 平成27年12月における武蔵野市特別職の職員の期末手当に関する条例 可決(賛成多数)
● 平成27年12月における武蔵野市一般職の職員の期末手当に関する条例 可決(賛成多数)
● 平成27年度武蔵野市一般会計補正予算(第4回) 可決(賛成多数)

【議員提出議案(4件)】

- 議案第98号武蔵野市民文化会館改修工事請負契約に関する付帯決議 可決(賛成多数)
● 安全保障関連法の廃止を政府に求める意見書 可決(賛成多数)
● 議案第96号武蔵野市立武蔵野市民会館条例の一部を改正する条例に関する付帯決議 可決(賛成多数)
● 都市農地の保全と農業振興の推進に関する意見書 可決(全会一致)

各議員の議案等に対する賛否結果については、市議会ホームページに掲載しています。

請願・陳情審議結果

- 探検 安全保障関連法の廃止を政府に求める意見書に関する陳情
● 不採択 「地方自治の尊重を政府に求める意見書」の撤回要請に関する請願
● 武蔵野市民文化会館改修工事に関する陳情(※)
● 武蔵野市民文化会館改修工事に関する陳情(※)
● 市立図書館取扱いの規制の強化並びに都に有害図書等の定義の広汎化及び例規の改正を求める意見書の提出に関する陳情
● 武蔵野市職員執務室の個室等の除去を求めることに関する陳情
● 市庁舎及び議場における市旗・都旗及び国旗の全ての掲揚等を求めることに関する陳情
● 武蔵野市職員採用試験等の制度改革に関する陳情(新規)
● 武蔵野市議会における著しく不当な重複趣旨たる陳情の受け付け拒絶等を求めることに関する陳情(新規)
● 国及び都に動物の殺処分を禁止することを求める意見書の提出に関する陳情(新規)
● 保健所等における動物の殺処分に係る施設見学を義務教育課程に含むことを求めることに関する陳情(新規)
● 外国人の扶養親族の透明化とさらなる改善を求める意見書の国に対する提出に関する陳情(新規)
● 福島原発事故による避難者が安心して暮らせる住まいの確保を求める意見書の提出に関する陳情
● 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用を求める意見書の提出に関する陳情
(※)は継続審査となつていたものです。

政府等への意見書

安全保障関連法の廃止を政府に求める意見書

九月十九日未明、安全保障関連法案が可決されました。五月より、衆議院・参議院ともに百時間を超える審議がなされましたが、その過程において十分な説明はされず、可決後すぐの世論調査の結果では六割の国民が説明不十分という認識でした。

また、弁護士を初めとし、学識関係者、大学生や高校生の若者たち、子育て中の若い世代も「安保法案はおかしい」と疑問の声を上げ、可決後もその声は続いています。

都市農地の保全と農業振興の推進に関する意見書

形で、日本の将来を決める法案が議決されてしまったこと、「抑止力」という名の「武装」に対して、ここ武蔵野市でも日々生活を営む市民が「安全保障関連法」に疑問を感じています。参議院特別委員会での安全保障関連法の採決は認めることはできず、法そのものが、憲法学者や最高裁判事らから違憲と判断されており、憲法第九十八条にも違反することは明らかです。

東京の農業は、持てる農地や施設を最大限に活用し、野菜・果樹・花卉・緑化植物畜産といった多様な経営形態が展開され、新鮮かつ安全・安心な農畜産物を生産・供給しています。

決議

議案第九十八号武蔵野市民文化会館改修工事請負契約に関する付帯決議

武蔵野市民文化会館改修に関しては、平成二十六年予算審査で必要な資料

の確保、良好な景観による住環境の保全、市民・学校教育・福祉等における農作業体験や体験学習など、身近に土や農に触れる機会を提供しています。また、農業者は地域の歴史・伝統文化の伝承、地域活動の推進にとって中心的な貴重な存在となっており、都市農地と農業は、毎日の市民生活にとって必要不可欠な存在と役割を持つに至っています。

実施が明記されました。これら基本的施策の実現は、都市農地の保全と都市農業の継続性に対して大きな希望を抱かせるものであり、農業者や農業関係者は言うに及ばず、まちづくりの視点からも、市民の視点からも大変大きな期待が寄せられています。

が議会に提出されなかったことなどにより、設計予算が事実上凍結された。その後、二回の全員協議会等において説明、協議が行われたとはいえ、多額の経費が想定されているにもかかわらず、この間の議会や市民に対する説明、報告が十分であったとはいえない。

議案第九十六号武蔵野市立武蔵野市民会館条例の一部を改正する条例に関する付帯決議

審議において、市民会館内に男女共同参画推進センターが移転することに伴い、市民会館事業のあり方等がどのようになるかが明確とならなかった。今後、市民会館事業をさらに充実させるための具体策を早期に講じることを求める。

議会ダイアル

- 自由民主・市民クラブ TEL 60-1884 FAX 51-9444
民主生活者ネット TEL 60-1889 FAX 51-9587
空 TEL 60-1890 FAX 51-9604
市議会公明党 TEL 60-1887 FAX 51-9479
日本共産党武蔵野市議団 TEL 60-1888 FAX 51-9485
むさしの志民会議 TEL 60-1885 FAX 51-9445
会派に属さない議員(第7控室) TEL 60-1909 FAX 51-9629
会派に属さない議員(第8控室) TEL 60-1944 FAX 51-0714

※議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページなどでご確認ください、議会事務局にお問い合わせください。

全員協議会

以下のとおり、全員協議会が開催されました。
・第五期長期計画・調整計画について(平成28年1月26日)

議会事務局

TEL 0422-60-1883 FAX 0422-55-7555
メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.jp
市議会ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/